

ネットいじめ 高岡市の実態と対応は。今後の対策は？

【金平市議が3月市議会で教育長に質問】

金平市議は3月市議会一般質問で、ネットいじめが全国で急増しているが、高岡市の実態と今日までの対応と今後の対策について質問しました。

米谷教育長は「本市におけるネットいじめについて、学校が把握しているものは、過去3年間では、各年度で、小学校で2件から4件、中学校で3件から7件の間で推移している。今年度は12月末現在で小学校4件、中学校7件である。その内容は、小学校はオンラインゲームの仲間はずれが2件、SNSでの悪口が2件、中学校では7件すべてがSNSでの悪口となっている。

本市では、かねてから各学校の生徒会等が中心となり、自主的にネットルールをつくり、実践してきている。また、GIGAスクール構想の推進にあたって、保護者の協力を得て、各家庭で学習専用端末を使用する際の『家族のルール』をつくっていただくなどし、ネットモラルの育成・徹底に取り組んでいる。また、警察や携帯電話会社等の協力を得て、児童生徒や保護者を対象に、『ネットトラブル防止研修会』を実施し意識啓発や未然防止に努めている」と答えました。

ジェンダー平等 管理職への女性職員の登用、促進を。

《高瀬市議が総務部長に一般質問》

2月、東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗氏が日本オリンピック委員会の会合で「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」などと女性蔑視発言をしたことに対し内外で批判が高まり辞任しました。今回の事態を、日本社会の構造的なゆがみをただし、政治をはじめ、あらゆる意思決定の場に女性が加わる仕組みを加速させ、ジェンダー平等をつくる契機にしていかなければなりません。高瀬市議は高岡市職員について、管理職への女性職員の登用の現状と更なる促進を求め質問しました。

二塚総務部長は「令和2年4月1日現在で、一般給料表適用者における女性の管理職は31人、管理職総数に占める割合は30.1%。

職員の登用については、職員の個々の能力、意欲、適正等に十分配慮し男女平等な登用を進めており、組織としての継続性を保ち、行政サービスの維持向上を図っていくためには、職員の半数を占める女性職員の活用は不可欠である。引き続き幅広い分野での女性職員の登用と、女性職員が能力を十分発揮できる職場環境づくりに努めたい」と答えました。

何でも相談会のお知らせ

◇日時:4月26日(月)午後1時半～3時 ◇会場:共産党議員団控室(議会棟1階)

◇相談受付:共産党議員団(金平市議、高瀬市議) ☎20-1544

◇コロナ禍のもとでの暮らし、福祉、税金、環境など何でもご相談を!